

## 特定地域経営支援対策事業点検評価結果報告書

報告年度	令和 2 年度
------	---------

No	市町村名	地区名	事業年度	目標年度	点検評価結果	改善措置等
1	北部	広城 (パイン選果場951.38㎡)	平成24年度 (平成25年度繰越)	平成29年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である経営面積の拡大や農業経営の法人化は目標を達成している。施設等の利用状況は生果用選果機および加工機、加工用選果場および加工機で計画目標未達成であった。	沖縄県指導内容等 パインアップル増産に向け関係機関と連携して、担い手の育成および農地の集積、新規就農者の確保等、生産拡大に向けた取り組みを行い、計画的な増産体制により施設利用の計画目標を達成できるよう指導した。
2	伊是名村	東部 (風乾施設192.3㎡)	平成24年度 (平成25年度繰越)	平成29年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である経営面積の拡大は、利用権を設定する予定であった土地改良区の事業完了遅れに伴い野菜団地への換地遅れが生じ利用権設定ができない状態が続いている。また、一部経営体では高齢化や離農により規模拡大のめどが立たないことから未達成となっている。また、施設等の利用状況は野菜の集荷量が栽培面積の減少や反収が低調な影響で計画目標未達成であった。水稻の集荷量は目標達成している。	沖縄県指導内容等 今後は土地改良区の早期の環境改善および東部地区全体で利用できる圃場の活用により意欲ある経営体への農地の集積および必要に応じて意欲ある経営体の再選定を行い、目標達成に向けた改善を行うよう指導した。 タマネギ・カボチャ生産については管理作業の遅れによる単収低下が集荷量低調な要因となっている。地域の基幹作物である、サトウキビや水稻と園芸品目を合わせて管理作業の見直しを行い、園芸品目の生産体制の強化を関係機関と連携して取り組み早期の目標達成するよう指導した。
3	読谷村	第二西部 (野菜温室6744㎡)	平成24年度	平成29年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である経営面積の拡大は目標達成している。しかし、施設等の利用状況では施設等の利用状況ではゴーヤーの生産量が未達成である。	沖縄県指導内容等 ウイルス病の蔓延による生育障害や収穫期間の短縮及び栽培経験の浅い経営体による栽培管理不足による影響で出荷量が低調となっている。関係機関等と連携して病害虫防除の徹底を指導および経験の浅い生産者の重点的なフォローアップによる早期の目標達成に向け関係機関が連携して取り組むよう指導した。
4	糸満市	喜屋武・糸洲 (花卉温室7,200㎡) (花卉集出荷施設495㎡) (ハイマストフォーグ1式) (花卉選別施設533.66㎡)	平成24年度 (平成25年度繰越)	平成29年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である経営面積の拡大は達成されているが農産物の品質向上は未達成となっている。	沖縄県指導内容等 農産物の品質向上を図るため、関係機関と協力し肥培管理、台風対策、病害虫対策等の技術指導を行い早期に目標達成するよう指導した。
5	名護市	勝山 (ペットボトル充填ライン一式)	平成25年度 (平成26年度繰越)	平成30年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である新規作物の導入は目標達成している。また、施設等の利用状況は目標期間で達成していたが、近年、原料不作の影響でペット仕向け数量が低調となった。それに伴い収入計画に対収入実績割合も未達成となっている。	沖縄県指導内容等 低濃度の飲料用ジュースは生産ライン内に残るジュースのロスが多く、生産ロットの改善等対策を指摘した。販路拡大に向け取り組んでいたが、2年連続の大型台風の襲来により、原料の生産量が低下したことから、当初想定した販売につなげる事ができなかった。目標達成に向け、安定した原料確保に向けた栽培管理およびさらなる販路拡大に受けた取り組みを継続するよう指導した。
6	南風原町	南風原 (さとうきび収穫機械一式)	平成25年度	平成30年度	成果目標達成	成果目標達成

## 特定地域経営支援対策事業点検評価結果報告書

報告年度		令和 2 年度				
7	沖縄本島北部	沖縄県北部広域 (パイン育苗施設2,340㎡)	平成26年度 (平成27年度繰越)	令和元年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である経営面積の拡大は目標達成している。また、施設等の利用状況は330,000本の育苗を確保し、計画目標を達成している。	成果目標達成
8	伊平屋村	伊平屋 (トラクター等一式)	平成26年度	令和元年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である生産コストの縮減は目標達成している。また、施設等の利用状況ではトラクター等の活用による利用面積は目標達成している。	成果目標達成
9	南風原町	南風原第2 (産地形成促進施設981.5㎡)	平成26年度 (平成27年度繰越)	令和元年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である経営面積の拡大および新規作物の導入は未達成となっている。さらに利用計画に対する利用状況は利用客数、地域内の農産物の仕入れ・委託販売額の割合が未達成である。その要因は、農家委託率が少なく葉野菜類、島野菜等の出荷者が少ない。また、南風原町特産のかぼちゃ、とうがん、へちま等の出荷が少ない状況である。	沖縄県指導内容等 地域内の農産物の仕入れ改善に向け南風原町の特産であるカボチャ、へちま等の果菜類の出荷促進のため生産部会と連携強化を図り安定供給の体制を図ることが重要である。また、葉菜類や島野菜などの需要の高い品目の生産を推進し安定的な供給体制の構築、さらに関係機関が協力してイベント等を開催し集客向上等の取り組みをおこない早期に目標達成できるよう指導した。
10	八重瀬町	やえせ (育苗施設2,992㎡) (果樹温室13,350㎡)	平成26年度	令和元年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である経営面積の拡大、新規品目の導入は達成している。しかし、農産物の品質向上は未達成となった。施設の利用計画に対する利用状況では果樹の出荷量が未達成であった。	沖縄県指導内容等 育苗施設:成果目標達成 果樹温室:開花時期のハウス内温度管理およびスリップス等の病害虫防除の徹底により、安定着果および品質向上し早期に目標が達成できるよう関係機関と連携し技術向上を図るよう指導した。
11	糸満市	真壁・真栄平 (レタス集出荷貯蔵施設493.3㎡、マルチャー・トラクター等一式)	平成26年度 (平成27年度繰越)	令和元年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である生産コストの縮減については、収穫調整作業が気象条件に影響を受け未達成となっている。施設等の利用状況のレタスの出荷量は、単価安の影響で生産量が減少してしまい計画を達成していない。	沖縄県指導内容等 生産コストの縮減に向け作型改善によるレタス生産性の向上および効率化、調整作業等の合理化に取り組むとともに、生産拡大のためには価格安定が重要であるため、品質の向上および安定的な販路確保に取り組み、計画を達成できるよう指導した。
12	宮古島市	みやこ第3 (さとうきび収穫機械等一式)	平成26年度	令和元年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である経営面積の拡大は未達成となっている。施設の利用状況としてハーベスターおよびトラクターの利用の目標は達成している。	沖縄県指導内容等 経営面積の拡大目標の未達成要因として、利用権が切れたことによるため、早急に利用権を再設定し、目標を達成するよう指導した。
13	石垣市	石垣第4 (果樹温室12,834㎡) (野菜温室7,932㎡)	平成26年度 (平成27年度繰越)	令和元年度	経営面積の拡大や新規作物の導入・農産物の品質向上は目標達成している。また、施設等の利用状況ではゴーヤー等の生産量は目標未達成であるが、マンゴーの生産量は目標を達成している。	沖縄県指導内容等 野菜(ゴーヤー)の生産計画達成のためには、肥培管理、病害虫管理及び草勢の維持など管理の徹底による長期的な栽培を行う必要があり、個々の経営体の技術の高位平準化に向け関係機関が連携し取り組み、早期に計画達成するよう指導した。
14	本部町	本部 (粗飼料管理一式)	平成27年度	令和2年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である生産コストの縮減は目標達成している。しかし、農業経営の法人化手続きに時間を費やしているため目標未達成である。また、施設等の利用状況は粗飼料管理機械受益面積が目標達成している。	沖縄県指導内容等 農業経営の法人化の推進に向けて関係機関との調整を行い、経営状態の把握と共に法人化に向けたスケジュールを共有し、早期の意欲ある多様な経営体の成果目標達成に向け取り組むよう指導した。

## 特定地域経営支援対策事業点検評価結果報告書

報告年度		令和 2 年度					
15	宜野座村	宜野座 (イチゴ育苗施設1,872㎡、攪拌庫90㎡)	平成27年度	令和2年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である新規作物の導入は目標達成している。しかし、経営体の改善目標において生産コストの縮減は未達成となった。また、施設等の利用状況ではイチゴ苗供給量は目標達成している。	沖縄県指導内容等 課題であった病害虫防除技術の向上はみられたが、新品種導入のため自家ほ場による育苗を実施した経営体があったことからコスト縮減の目標が未達成となった。生産者のニーズの把握と育苗技術の向上に取り組むことで、安定した育苗体制を構築するよう指導した。	
16	南風原町	南風原・津嘉山 (野菜温室5,814㎡)	平成27年度	令和2年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である経営面積の拡大及び新規品目の導入は成果目標が達成されている。利用計画に対する施設の利用状況は野菜の出荷量が未達成となっている。その要因は、きゅうり、ゴーヤー栽培に於いて生育後半期に病害虫の発生により反収が低下したことによる。	沖縄県指導内容等 きゅうりゴーヤーの生産量増加にむけ、病害虫防除の徹底および適期肥培管理、特に生育後半期における樹勢の維持を図るための灌水及び追肥のこまめな管理が重要である事から関係機関と連携した技術向上を図るよう指導した。	
17	八重瀬町	具志頭 (野菜温室11,505㎡) (野菜温室5,382㎡)	平成27年度	令和2年度	成果目標達成	成果目標達成	
18	豊見城市	豊見城市 (果樹温室6,780㎡) (野菜温室8,676㎡)	平成27年度	令和2年度	成果目標達成	成果目標達成	
19	糸満市	喜屋武 (集出荷貯蔵施設148.5㎡、 トラクター、ロータリー、肥料散布機一式)	平成27年度	令和2年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である経営面積の拡大が未達成となっている。また施設等の利用状況のニンジン出荷量も未達成である。計画どおりニンジン栽培面積の拡大ができていないため生産量が低迷している。	沖縄県指導内容等 栽培面積の拡大のため、農業委員会および農地中間管理機構と協力し農地の利用権設定を進めニンジン栽培面積拡大に取り組む必要がある。さらに、産地としての出荷量を確保するため関係機関と連携し単収向上のための栽培技術改善に取り組む目標を達成できるよう指導した。	
20	久米島町	久米島 (加工処理建屋339.6㎡) (ペースト加工設備一式)	平成27年度	令和2年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である経営面積の拡大および新規作物の導入は未達成。また、施設の利用状況はかんしょの原料仕入れ量および計画に対する収入実績割合が未達成となっている	沖縄県指導内容等 成果目標である面積拡大について、農業委員会および農地中間管理機構等の関係機関と連携し早期の目標達成に向け取り組むよう指導した。 成果目標である新規品目の導入および施設の利用について、かんしょの病害の多発により栽培面積および生産量が減少していることから、関係機関と連携し病害対策や栽培技術向上を図り、安定的なかんしょ生産により目標達成するよう指導した。	
21	南大東村	南大東 (整備・研修施設717.5㎡)	平成27年度	令和2年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である生産コストの縮減は未達成となっている。施設の利用状況として研修会の延べ参加人数は計画を達成している。	沖縄県指導内容等 機械整備研修会を継続して開催し、整備技術の平準化および効率の向上に向け取り組むよう指導した。	

## 特定地域経営支援対策事業点検評価結果報告書

報告年度		令和 2 年度					
22	宮古島市	みやこ第4 (畜舎・粗飼料管理機一式) (さとうきび収穫機械一式)	平成27年度	令和2年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である農業経営の法人化は達成しているが、経営面積の拡大は未達成となっている。施設の利用状況としてトラクターおよび粗飼料管理機一式は利用面積が未達成となっている。	沖縄県指導内容等 成果目標である面積拡大について、農業委員会および農地中間管理機構等の関係機関と連携し早期目標達成に向け取り組むよう指導した。 トラクターおよび粗飼料管理機一式の利用率達成に向け、経営面積の拡大および作業受託の周知による利用面積の改善に向け取り組むよう指導した。	
23	石垣市	石垣第5 (果樹温室8,190㎡)	平成27年度	令和2年度	成果目標達成	成果目標達成	
24	八重瀬町	やえせ第2 (果樹温室8,310㎡)	平成28年度	令和3年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である経営面積の拡大、新規作物の導入および生産コストの縮減は目標を達成した。しかし、樹勢維持のため着果を見送ったため農産物の品質向上は未達成となった。また、利用計画に対する利用状況も果樹の出荷量が未達成となった。	沖縄県指導内容等 マンゴーの定植が遅れたことから、樹勢維持のため昨年度の着果を見送ったため出荷実績がなかった。今年度以降、計画を達成できるよう、関係機関が連携し栽培技術の向上を図るよう指導した。	
25	南城市	南城市 (果樹温室4,950㎡)	平成28年度	令和3年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である経営面積の拡大は達成している。しかし、農産物の品質向上は未達成となっている。施設等利用状況は果樹の出荷量が計画未達成となっている。	沖縄県指導内容等 樹勢維持のため着果制限をしていることから出荷量が減少し、それに伴い品質も向上も未達成となった。今年度以降、計画を達成できるよう、台風対策の徹底および関係機関が連携し栽培技術の向上を図るよう指導した。	
26	豊見城市	豊見城 (農畜産物集出荷貯蔵施設 863.4㎡)	平成28年度	令和3年度	成果目標達成	成果目標達成	
27	糸満市	糸満第一 (えだまめ脱莢機・選別機一式)	平成28年度	令和3年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である新規作物の導入は達成している。施設に対する利用状況はエダマメの出荷量が未達成となっている。その要因は、害虫被害の影響と低温期の発芽不良がある。	沖縄県指導内容等 関係機関と連携した病害虫防除技術向上にむけた取り組みおよび、低温期を避ける作型や、低温でも安定的に発芽できる品種の導入の検討を生産者を含め検討し、目標を達成できるよう指導した。	
28	糸満市	糸満第二 (野菜選果用機械一式)	平成28年度	令和3年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である新規作物の導入は達成している。施設に対する利用状況はニンジンの出荷量が未達成となっている。その要因は、栽培面積の減少および高温期の発芽不良等がある。	沖縄県指導内容等 ニンジンの生産安定のためには播種後の寒紗被覆および定期的な灌水の実施が重要であるため、これらの基礎栽培管理の徹底が重要である。さらに、生産部会の育成強化を図り、受益農家に対するニンジン栽培の情報の共有化を行い糸満市のニンジン産地として栽培面積の拡大に取り組むよう指導した。	

## 特定地域経営支援対策事業点検評価結果報告書

報告年度		令和 2 年度					
29	北大東村	北大東 (農産物集出荷貯蔵施設 586.92㎡)	平成28年度	令和3年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である生産コストの縮減は達成している。施設の利用状況はかぼちゃや馬鈴薯の出荷量は未達成となっている。その要因としてかぼちゃと馬鈴薯の販売価格が低調なことから出荷量が低調となっている。	沖縄県指導内容等 かぼちゃと馬鈴薯の出荷量の計画達成のため、関係機関が連携し面積拡大および栽培技術向上に向けた取り組みを支援するよう指導した。	
30	宮古島市	みやこ第5 (さとうきび収穫機械一式) (乾燥調整貯蔵施設3260.75㎡)	平成28年度	令和3年度	成果目標達成	成果目標達成	
31	多良間村	塩川高穴 (さとうきび収穫機械一式)	平成28年度	令和3年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である生産コストの縮減は未達成となっている。施設の利用状況としてハーベスターの収穫面積は未達成となっている。	沖縄県指導内容等 ハーベスターの収穫作業体系は事業主体を中心に計画的に推進することが重要となることから、関係機関及び受益農家等と十分な連携を図り、機械収穫によって労働経費のコスト削減を目標にさとうきび生産振興に取り組み、次期作では目標を達成するよう指導した。	
32	南風原町	南風原・津嘉山第2地区 (果樹温室5,076㎡) (野菜温室6,656㎡)	平成29年度	令和4年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である新規作物の導入および農産物の品質向上は目標を達成している。しかし、経営面積の拡大は未達成となっている。施設等の利場状況は野菜の出荷量および果樹の出荷量共に目標を達成している。	沖縄県指導内容等 経営面積の拡大については、農業委員会や農地中間管理機構等と連携し目標達成に向け取り組みよう指導した。	
33	八重瀬町	具志頭第二 (野菜温室13,396㎡) (野菜温室7,917㎡)	平成29年度	令和4年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である経営面積の拡大、新規作物の導入および生産コストの縮減は目標を達成した。しかし、農産物の品質向上は未達成となった。また、利用計画に対する利用状況は野菜の出荷量の計画を達成した。	沖縄県指導内容等 害虫被害が多く品質向上の目標が未達成となった。病害虫防除を中心に栽培技術向上にむけ関係機関が連携して取り組み、品質向上の目標を達成できるよう指導した。	
34	豊見城市	豊見城第2 (野菜温室 20,559.6㎡) (果樹温室 6,360㎡)	平成29年度	令和4年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である経営面積の拡大、新規品目の導入、農産物の品質向上は目標達成しているが、経営改善目標でトマトおよびマンゴーの品質向上が未達成となっている。また、利用計画に対する利用状況は野菜の出荷量の計画を達成した。しかし果樹は計画未達成となった。	沖縄県指導内容等 野菜(トマト)生産において、一部圃場で害虫が多発し品質向上の経営改善目標を達成できていない経営体があったことから、未達成経営体の重点的な支援により栽培技術の平準化により目標の達成を図るよう指導した。 果樹(マンゴー)生産では、年度以降、計画を達成できるよう、関係機関が連携し栽培技術の向上を図るよう指導した。	
35	糸満市	糸満第三 (花卉温室1,440㎡) (花卉選別施設433.2㎡) (育苗施設512㎡)	平成29年度	令和4年度	成果目標達成	成果目標達成	

## 特定地域経営支援対策事業点検評価結果報告書

報告年度		令和 2 年度					
36	多良間村	仲筋・仲筋北部 (さとうきび収穫機一式)	平成29年度	令和4年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である生産コストの縮減は未達成となっている。施設の利用状況としてハーベスターの収穫面積およびトラクターの耕起・砕土・植付面積は未達成となっている。	沖縄県指導内容等 ハーベスターの収穫作業体系は事業主体を中心に計画的に推進することが重要となることから、関係機関及び受益農家等と十分な連携を図り、機械収穫および管理作業によって労働経費のコスト削減を目標にさとうきび生産振興に取り組み、次期作では目標を達成するよう指導した。	
37	沖縄県広域	沖縄県広域 (集出荷貯蔵施設、空調施設、搬送ライン、真空予冷装置)	平成30年度	令和5年度	成果目標達成	成果目標達成	
38	伊江村	伊江村 (精脱葉施設、さとうきび収穫機一式)	平成30年度	令和5年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である経営面積の拡大は目標達成している。しかし、新規作物の導入及び生産コストの縮減は未達成である。また、施設等の利用状況ではさとうきび脱葉処理量やさとうきび収穫面積は目標達成している。	沖縄県指導内容等 成果目標である新規作物の導入や生産コストの縮減はさとうきびおよび新規品目の生産に取り組めなかった経営体がいるため、目標達成できていない。個々の生産者の営農状況を把握し、計画的な作付け管理を行うとともに、営農を継続できない経営体については、早急に意欲ある経営体の再選定を行うよう指導した。	
39	糸満市	米須 (農産物集出荷貯蔵施設267.44㎡) (農産物集出荷貯蔵施設297.0㎡)	平成30年度 (平成31年度繰越)	令和5年度	意欲ある多様な経営体の成果目標である雇用の確保は達成したが、新規作物の導入は未達成であった。また、施設等の利用状況はモロヘイヤおよびキュウリの出荷量が計画未達成となっている。未達成の要因として施設の完成が遅れ、利用期間が短かったことがある。	沖縄県指導内容等 令和2年度からは施設利用が計画的に行われることにより、目標を達成できる見込みである。関係機関が連携して次年度以降の目標達成に向け支援するよう指導した。	
40	石垣市	石垣第6 (野菜温室10,560㎡) (野菜温室5,796㎡)	平成30年度	令和5年度	成果目標達成	成果目標達成	

- (注) 1 目標年度までの各年度においては、目標達成状況の報告内容を点検し、その結果を記入する。
- 2 目標年度においては、目標達成状況及び事業評価結果の報告内容を踏まえて点検評価を行い、その結果を記入する。
- 3 目標未達の場合は、その要因を分析し、必要な改善措置等を記入する。
- 4 目標達成状況報告書を添付する。